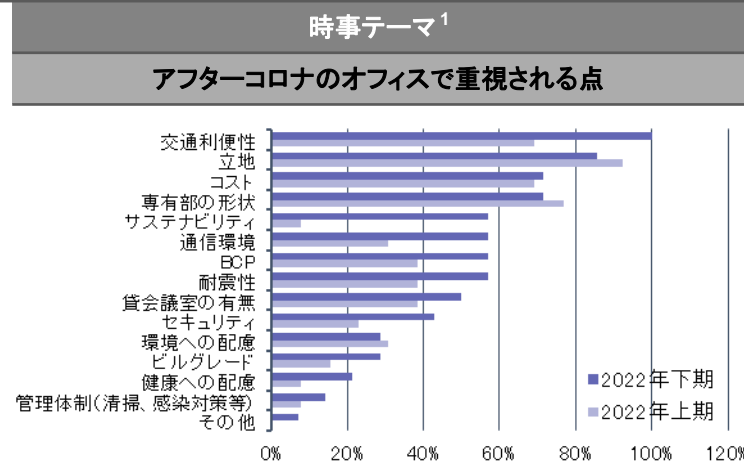


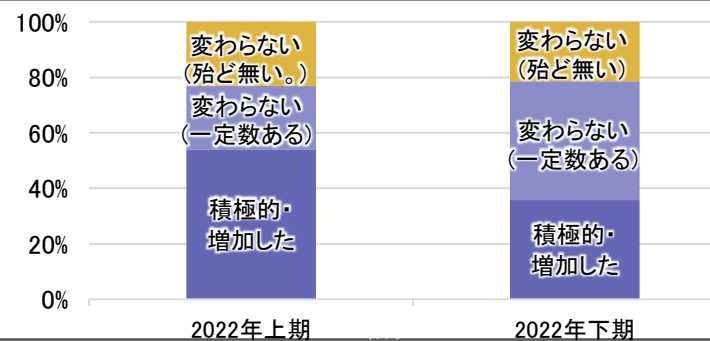
【大阪】オフィス賃貸市場の概要(2023年2月調査)

マーケット総括

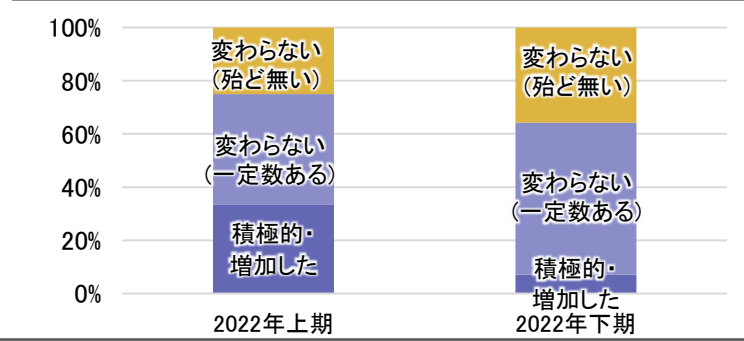
- 業績改善を目的とした解約の動きは落ち着きつつあり、業績好調企業による館内増床や拡張移転などの動きが見られる。
- 特に、梅田や淀屋橋と比べ賃料に手ごろ感のある船場、心斎橋、難波で面積50~100坪程度の中小規模の需要が旺盛で、空室が生じても比較的早期に後継テナントの確保が進んでいる。
- 一般的に空室消化が進みつつあるが、駅へのアクセスやビルスペックのわずかな差異で入居状況に明暗が生じている例が散見され、テナントによる選別は一層厳しくなりつつある。



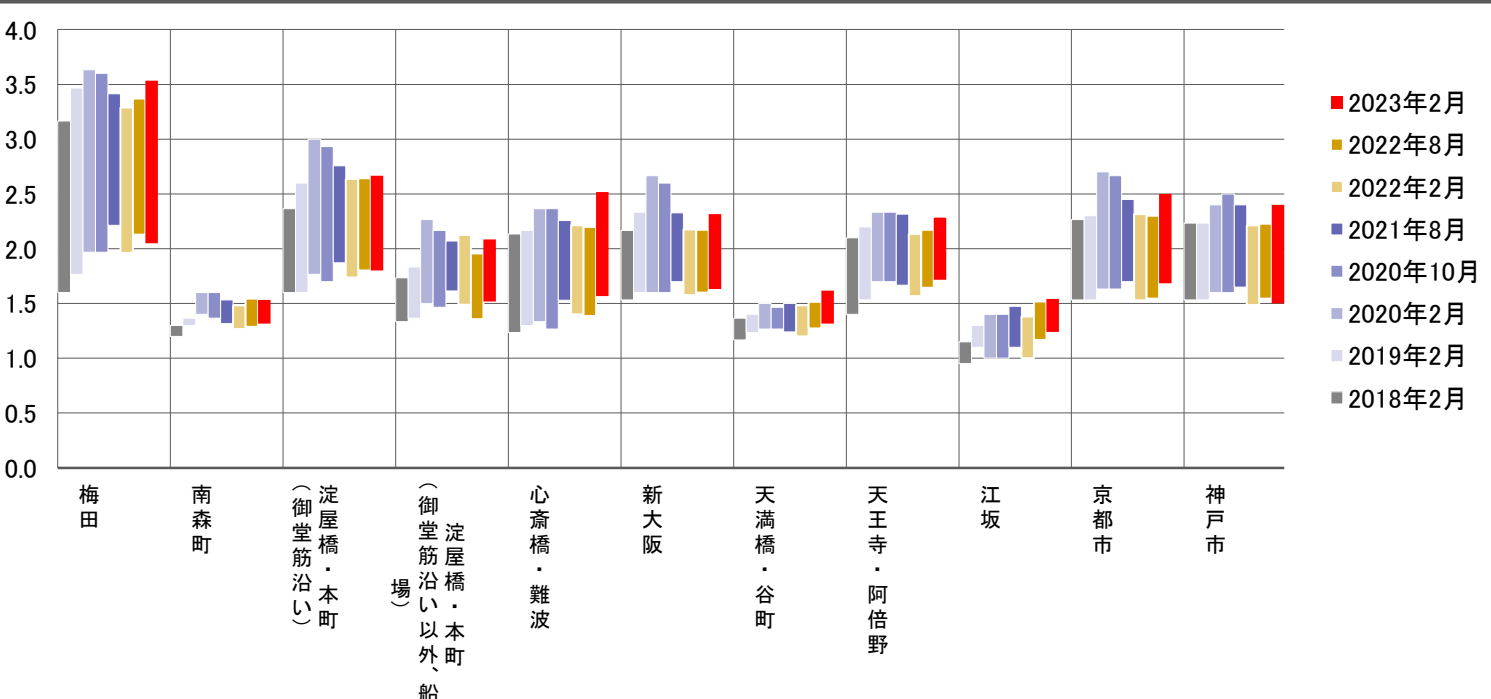
カーボンニュートラルに関するビルオーナーの取組



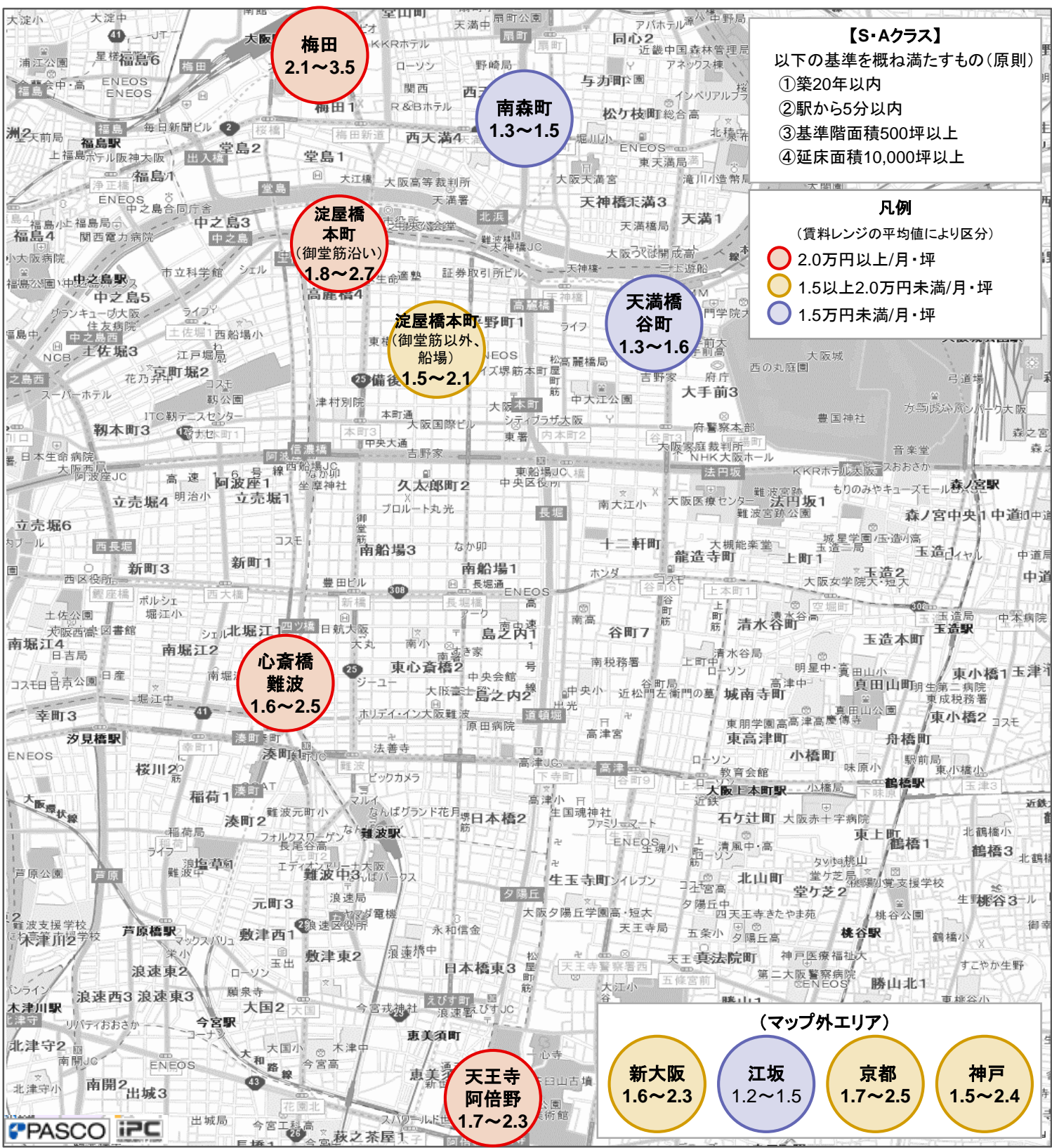
カーボンニュートラルに関するテナントの要望



S・Aクラス成約賃料レンジの時系列比較(万円/坪)



エリア別S・Aクラス成約賃料レンジ(共益費込)



(注) 1. 時事テーマについては、東京・大阪・名古屋計17社の回答を集約

本資料に記載している見解等は本資料作成時における見解等であり、経済環境の変化や相場変動、税制等の変更によって予告なしに内容が変更されることがあります。また、記載されている推計計算の結果等につきましては、前提条件の設定方法によりその結果等が異なる場合がありますので、充分ご注意ください。本資料は、当社が入手可能な情報に基づき作成したものです。その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。施策の実行にあたっては、実際の会計処理・税務処理等につき、お客さま顧問会計士・税理士等にご確認くださいようお願い申し上げます。本資料の分析結果・シミュレーション等を利用したことにより生じた損害については、当社は一切責任を負いません。また、本資料は、特定の有価証券の価値等に関する助言又は金融商品の価値等の分析に基づく投資判断に関する助言を目的とするものではありません。本資料の著作権は三菱UFJ信託銀行株式会社に属します。従いまして、本資料のお取扱いはお客さま限りにてお願い申し上げます。

世界が進むチカラになる。

